

令和5年度

事業報告書

目次

令和5年度 社会福祉法人深浦町社会福祉協議会事業報告書	1
1-1 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進	3
(1) 地域住民の主体的福祉活動の推進	
①ほのぼのコミュニティ 21 推進事業の実施 ②福祉安心電話の設置運営	
(2) 当事者社会参加の促進	
①いきいき交流会の開催 ②シルバーバンク事業の運営 ③福祉団体の活動支援と当事者の社会参加	
(3) 福祉課題の把握	
①地域福祉や介護保険等に関する情報収集	
2-1 地域福祉サービスの推進	5
(1) 介護保険事業等の運営	
①介護保険事業の運営 ②障害福祉サービス事業の運営 ③要支援者等外出支援事業の実施	
(2) 地域福祉活動の推進	
①生きがい活動推進事業の実施 ②食の自立支援事業の実施 ③高齢者等の生活支援体制整備事業の実施	
④ふれあい支援（保険外サービス）事業 ⑤脳の健康教室の実施 ⑥認知症カフェ（ゆとりカフェ）の実施	
2-2 福祉教育・ボランティア推進校の推進	9
(1) 福祉意識の高揚と人づくり	
①第19回深浦町社会福祉大会の開催	
(2) 福祉教育の推進	
①ボランティア活動推進校の指定 ②福祉出前講座の実施 ③福祉の作文集の発行	
(3) ボランティア活動の推進	
①ボランティアセンター事業の実施 ②災害ボランティアネットワークの構築	
2-3 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実	11
(1) 福祉情報の提供	
①社協だよりの発行 ②社協ホームページの管理	
(2) 相談体制の確立	
①心配ごと相談事業の実施 ②福祉サービス苦情解決第三者委員会の設置	
(3) 生活支援体制の確立	
①たすけあい資金貸付事業の実施 ②生活福祉資金貸付事業の実施 ③総合的権利擁護事業の推進	
④生活困窮者自立支援事業の協力 ⑤日常生活費預り事業の実施	
3-1 町社協基盤の充実強化	14
(1) 社協組織の強化	
①理事会・評議員会の充実 ②地区分会の組織と活動強化 ③フィットネスプラザゆとりの管理	
④第3次地域福祉活動計画周知及び進捗管理 ⑤業務継続計画（BCP）の策定	
(2) 職員体制の強化	
①職員の処遇安定 ②福祉専門職としての資質向上	
(3) 関係機関・団体との連携	
①社会福祉法人、事業者との連携 ②各種関係機関・職能団体への参加	
(4) 財政基盤の整備	
①会員会費制度の理解と加入促進 ②公費助成の確保 ③自主財源の確保	
④共同募金事業への協力 ⑤基金・積立金の運用 ⑥各種助成制度の活用	

令和5年度 社会福祉法人深浦町社会福祉協議会事業報告書

総括

1. 法人の運営

令和5年度は、第3次深浦町地域福祉活動計画が初年度の年となりました。活動計画を踏まえつつ、年度事業の遂行をしてきましたが、概ね目標を達成できたものと思われまます。これも一重に、役職員はじめ関係各位のご支援ご協力の賜物と感謝するところです。

フィットネスプラザゆりの温泉部門廃止により、これまでと違った環境の中で業務を行い、夜間や土日の勤務体制に職員のゆとりが生まれるのかと思われまましたが、体制が変われば変わったなりに、業務が増えてくるものだと感じた一年でした。これまで同様に、各職員間で情報共有や連携を密に、業務を遂行していきたいと考えまます。

2. 事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限も緩和され、事業の実施等についてもコロナ禍前に戻りつつあるものの、職員やその家族に感染者が確認され、休業を余儀なくされたこともあり、まだまだ油断はできない状況にあると感じたところです。

それでも、集合型の集いの場としてのいきいき交流会も時間短縮はしたものの予定通り開催し、地域での生きがい活動の実施についても、大きな影響はなく実施できました。

また、令和5年7月には、再び大雨による被害が発生し、改めて、災害時の対応や支援方針の取り組みの重要性を感じたところです。感染症及び自然災害時における業務継続化計画（BCP）の策定をし、災害時の対応方針を計画としてまとめることができました。今後、町との連携による災害ボランティアセンター設置訓練等の実施に結び付けていきたいものだと考えるところです。なお、青森県社会福祉協議会及び、つがる西北五地域の社会福祉協議会と災害連携協定を締結し、大規模災害時の相互連携の強化を図ることができました。業務継続化計画や災害時連携協定が有効的に機能できる取り組みを行っていききたいと思いまます。

新たに実施した事業は特にありませんでしたが、コロナ禍における特例の生活福祉資金緊急小口資金借受人の償還指導や生活状況の確認等を行うこととなりました。償還免除になった方もありますが、継続した生活実態の把握や相談支援を行っていまます。

権利擁護事業では、成年後見制度の受任件数が増加してきており、支援活動等の業務量が増加してきていまます。専任職員が配置されていないことから、専任職員の配置、後見支援員や生活支援員の配置等支援体制の構築が今後の必須課題ではないかと思われまます。

生活困窮相談にあたっては、西北地域自立相談窓口及び町の関係機関との連携を図りながら相談援助にあたっていまました。新型コロナウイルス関連や世界情勢の変化による経済状況の悪化により生活困窮相談も増加傾向にあります。特に、生活保護世帯でありながら、浪費により食糧の購入ができず、フードバンクを一時的、長期的に利用するといったケースも増えてきており、生活困窮者対策を今後も進めていく必要があると思われまます。

生活支援体制整備事業では、本年度も養成講座を開催したことにより若干ではありますが生活お助け隊の増員を図ることができました。人口減少に伴う地域共生社会の実現においては地域の福祉力が必要不可欠であり、小地域での相互支援体制をつくっていく必要があります。お助け隊の増員と事業のPRを図りながら、生活支援体制の整備を図っていききたいと考えまます。また、早い段階で自分の老後を考える仕組みとしての老いじたく活動のPRをパンフレットや研修を通じて周知し、今後も積極的に老いじたく事業に取り組んでいききたいと考えまます。

介護保険事業等に関しては、経営面において依然厳しい状況下にはありますが、非常勤の訪問介護員を増員したところです。人材の確保と経営面を考えた事業経営が重要な課題となっていますが、町内の他の事業者とも連携を図りながら、介護保険事業の経営を考えていききたいと思いまます。

関係機関等との連携として、従来からの福祉団体の事務局を担当していまますが、老人クラブでは会員の減少等で単位クラブの運営自体が弱体化してきていまます。母子寡婦、障害者団体においても新規加入者の減少と会員の高齢化により同様の状況下にはあります。しかしながら、コロナ禍の影響も徐々に回復してきたことから、集合型の行事も実施することができ、参加者の笑顔が見られるようになりました。活動の活性化を今後も図っていききたいと思いまます。

また、法人等連絡会事業では、県の社会福祉法人経営者協議会事業を受け、令和元年度から引き続きモデル地区として、協議をする場を設けることができましたが、参加法人が固定化する傾向にあります。連絡会独自の事業としての見守り活動や一時的な生活困窮者支援活動等、連携の強化を図っていききたいと考えまます。

3. 経営状況

資金収支計算では、予算の段階では当期資金収支差額でマイナスでしたが、決算ではプラスに転じることができました。収入面では予算より減収となっていますが、支出が大きく抑制されてきたことが一因となっています。

事業活動計算（損益計算書）でも、当期活動増減差額（当期利益）が黒字となっています。サービス活動増減の部で、前期決算額より収支ともに大きく減額となっていますが、ゆとりの温泉部門の廃止が大きな要因となっています。

黒字になったこともゆとりの経営等で、前期末支払資金残高（繰越金）の支出が減ったことが要因となりました。

貸借対照表（資産および負債、純資産の状況）では、退職給付引当資産及び退職給付引当金の増加により、資産総額は増加しています。負債総額は、年度末流動負債は減少したものの退職給付引当金の増加により、前年度から増加しています。また、自動車の購入費用として備品等購入積立金を取り崩しましたが、成年後見事業の報酬増加により、新たに200万円を財政調整資金へ積み立てを行ったこと、次期繰越活動増減差額も増加したことにより、前年度より純資産総額は増加しました。純資産の合計は、前年度から115万円程増加しています。

※詳細は決算書参照

1-1 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

(1) 地域住民の主体的福祉活動の推進

①ほのぼのコミュニティ 21 推進事業の実施

- ・全地区を対象として実施
- ・コーディネーターの配置（兼任職員 1 名の配置）
- ・一人暮らし老人、高齢者等の要援護者の状況の把握し、安否の確認の実施

②福祉安心電話の設置運営

- ・新規設置台数 5 台
- ・退会者の取外し 3 台
- ・電池交換
- ・年未年始の友愛訪問の実施
- ・着信状況

通知状況				対応状況			
緊急	AC復電	AC停電	計	協力員を要請	救急車を要請	停電・協力員を要請	計
0	5	13	18	0	0	0	0

・地区別設置台数 ※()は前年度

No.	地区	台数	No.	地区	台数	No.	地区	台数	No.	地区	台数
1	横磯	1(1)	5	12区	1(1)	9	風合瀬	1(2)	13	岩崎下	2(1)
2	6区	2(2)	6	広戸	0(1)	10	晴山	2(2)	14	岩崎中	0(1)
3	崎の町	1(1)	7	塩見崎	2(1)	11	関	2(2)	15	森山	0(1)
4	川原町	1(1)	8	轟木	6(4)	12	岩坂	0(1)	合計台数		21(22)

(2) 当事者社会参加の促進

①いきいき交流会の開催（共同募金配分事業）

・全 2 回、午前中のみ開催

No.	開催日	会場	参加者	内容
1	8月3日	多目的ホール	93名	<ul style="list-style-type: none"> ・みはる保育園の遊戯 ・美照流あけぼの会の舞踊 ・鯨ヶ沢警察署 寸劇、講話手記朗読 ・民謡 ・お楽しみ抽選会
2	12月5日	多目的ホール	111名	<ul style="list-style-type: none"> ・青い鳥保育園の遊戯 ・美照流あけぼの会の舞踊 ・町民課 ゴミの分別の講話 ・社協 老いじたくについて ・サークルおけらの唄 ・民謡 ・お楽しみ抽選会

②シルバーバンク事業の運営

- ・高齢者の生きがい社会参加促進のための、シルバーバンクの運営
- ・シルバーバンク会員 32 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）
- ・作業実績

月	作業内容	件数	作業時間	作業人員
5	機械除草	5	20	5
	除草	1	1	1
6	機械除草	7	21	7
	木の伐採	1	2	1
	運転業務	1	27	2
7	機械除草	5	13	5
	木の伐採	1	4	1
	運転業務	1	30	2
8	機械除草	3	6	3
	枝伐採	1	7	1
	運転業務	1	27	2
9	機械除草	6	26	6

月	作業内容	件数	作業時間	作業人員
9	窓掃除	1	1	1
10	運転業務	1	36	2
	機械除草	2	2	2
	木の伐採	1	2	1
	運転業務	1	36	2
11	ゴミ運搬	1	3	1
12	除雪	9	11	7
1	除雪	1	1	1
	木の伐採	1	3	1
3	除雪	1	1	1
	薪割	1	2	1
合 計		53	282	56

③福祉団体の活動支援と当事者の社会参加

- ・深浦町老人クラブ連合会事務局
連合会の運営と各種会議、行事の開催
- ・深浦町心の福祉会（身体障害者福祉会）事務局
福祉会の運営と各種会議、行事の開催
- ・深浦町白百合福祉会（母子寡婦福祉会）事務局
福祉会の運営と各種会議、行事の開催
- ・青森県共同募金会深浦町共同募金委員会事務局
委員会の運営と各種会議、行事の開催

（3）福祉課題の把握

①地域福祉や介護保険等に関する情報収集

2-1 地域福祉サービスの推進

(1) 介護保険事業等の運営

①介護保険事業の運営

ア. 訪問介護事業の実施

- ・生活援助、身体介護、通院等乗降介助により要介護者の生活の自立を図った
- ・訪問介護員 10 名（兼務含む）
- ・3 月末訪問利用者 16 名
- ・年間利用実績

区分	利用者	身体介護		生活援助		身体+生活		乗降介助		合計	
		回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	15	8	3.8	60	53.1	16	19.8	17	9.3	101	86.0
5月	19	8	3.8	63	60.6	14	22.7	24	16.3	109	103.4
6月	18	4	2.1	55	53.3	14	22.2	30	8.9	103	86.5
7月	22	0	0.0	61	57.2	12	19.8	32	15.8	105	92.8
8月	21	0	0.0	50	47.9	12	19.6	30	18.0	92	85.5
9月	16	0	0.0	49	43.2	14	21.7	21	9.5	84	74.4
10月	20	7	6.2	50	45.9	16	24.1	29	19.2	102	95.4
11月	17	1	0.9	47	42.6	15	23.7	37	16.4	100	83.6
12月	17	8	7.8	48	43.7	14	21.4	17	12.4	87	85.3
1月	15	4	4.4	49	44.9	13	19.4	20	12.5	86	81.2
2月	18	5	6.4	47	43.4	20	27.6	19	10.7	91	88.1
3月	16	5	7.4	43	39.8	27	35.0	23	10.6	98	92.8
合計	214	50	42.8	622	575.6	187	277.0	299	159.6	1,158	1,055.0

イ. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 訪問型サービスの実施

- ・3 月末訪問利用者 14 名
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	14	178
訪問回数	66	70	77	67	73	59	63	73	56	54	65	56	779
訪問時間	54.3	57.5	62.5	54.1	59.9	48.5	51.3	51.4	43.8	45.8	53.5	45.9	628.5

ウ. 訪問入浴介護事業の実施

- ・自力での入浴が困難な方を、訪問入浴車により、自宅での居室内で入浴させ清潔保持を図った
- ・3 月末訪問利用者 1 名
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
入浴回数	4	5	4	4	2	4	4	5	4	5	4	4	49

エ. 居宅介護支援事業の実施

- ・要介護者の自立した生活を維持するため、利用者の希望に即したケアプラン作成を実施した
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	19	19	19	20	18	19	18	21	20	20	20	23	236
要介護2	16	16	13	12	11	10	10	10	10	10	10	8	136
要介護3	13	14	14	14	14	14	14	11	11	10	11	11	151
要介護4	2	2	2	3	4	4	5	5	3	4	5	5	44
要介護5	4	4	3	2	2	2	5	2	2	2	2	2	32
合計	54	55	51	51	49	49	52	49	46	46	48	49	599

オ. 介護認定の受託

- ・認定調査員（介護支援専門員）による調査
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	7	14	3	4	7	7	8	5	8	11	9	1	84

カ. 介護予防ケアマネジメント支援業務の受託

- ・介護予防支援計画及び介護予防ケアマネジメントの作成業務の受託
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防支援	8	8	9	9	9	9	7	7	5	5	6	7	89
ケアマネジメント	14	14	14	14	15	15	17	18	18	18	18	17	192
合計	22	22	23	23	24	24	24	25	23	23	24	24	281

キ. 町包括支援センター協力機関業務の受託（ランチ）

- ・町内に居住する概ね 65 歳以上の高齢者及び家族に対する相談業美の実施
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	24	24	25	25	26	26	26	27	25	25	26	26	305

②障害福祉サービス事業の運営

ア. 居宅介護・重度訪問介護事業の実施

- ・自力での入浴が困難な方を、訪問入浴車により、自宅での居室内で入浴させ清潔保持を図った
- ・3月末訪問利用者 5名
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59	
家事援助	回数	40	35	42	37	40	39	37	37	38	30	27	36	438
	時間	39	33.5	41	34.75	36.75	36	33.75	34.50	35	29	25.5	33.75	412.5
通院乗降 (回数)	14	8	8	10	8	8	10	4	6	5	9	4	94	

イ. 特定・障害者（児）相談事業の実施

- ・障害者（児）が適切なサービスを受けられるよう支援する事業の実施
- ・3月末訪問利用者 7名
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	7	9	9	9	6	1	5	6	6	6	4	7	75

ウ. 重度障害者訪問入浴事業の実施

- ・利用実績なし

③要支援者等外出支援事業の実施

- ・福祉有償運送事業許可を継続し、ケア輸送、介護輸送、障害輸送を実施
- ・登録者 59 名（内訳：ケア輸送 28 名、介護輸送 26 名、障害輸送 5 名）
- ・年間利用実績

区分	利用件数			走行キロ		
	ケア	介護	障害	ケア	介護	障害
4月	8	9	7	469	568	402
5月	13	12	4	663	889	171
6月	6	5	4	367	551	235
7月	7	17	5	438	1,031	262
8月	7	16	4	439	977	242
9月	5	11	4	355	598	248
10月	15	15	5	1,233	990	177
11月	15	19	2	1,087	955	210
12月	12	10	4	1,113	591	325
1月	9	9	4	447	701	168
2月	6	10	5	524	525	361
3月	12	11	2	1,070	522	132
合計	115	144	50	8,205	8,898	2,933

(2) 地域福祉活動の推進

①生きがい活動推進事業の実施

- ・町内全地区において毎週1回、高齢者の生きがいづくりとレクリエーションを実施
- ・運動指導員を配置し、健康増進の活動を実施
- ・生きがい活動支援員7名を委嘱
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実施地区	32	32	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31		
実施回数	125	117	139	135	113	130	143	139	111	123	129	122	1,526	
参加人数	891	797	967	906	715	862	947	968	800	852	925	866	10,496	
内訳	男	81	72	85	72	59	79	84	78	69	81	86	77	923
	女	810	725	882	834	656	783	863	890	731	771	839	789	9,573

※新型コロナウイルス感染症及び支援員の不足により中止も多くなった。

※令和5年4月より、7区と川原町を統合（元城として実施）

②食の自立支援事業の実施

- ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に配食サービスを実施（旧深浦地区対象 1食300円個人負担）
- ・「桃の木」で調理された弁当を社協で配達する（週2回、水・金の夕方）
- ・年間利用実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	16	17	17	16	17	15	9	8	8	8	7	7	145
延利用者数	103	131	135	122	139	130	71	65	59	59	56	63	1,133

③高齢者等の生活支援体制整備事業の実施

- ・生活支援コーディネーターを配置（専任職員2名配置）
- ・生活支援体制整備事業協議体の設置及び開催

No.	月	日	案 件
1	7	5	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度生活支援体制整備事業実績報告について ・令和5年度事業計画案について ・その他について

・生活お助け隊の運営管理

生活お助け隊連絡会・研修会の開催

No.	月	日	内 容	参加者数
1	7	27	講演 高齢者の移動手段を確保するための制度について 講師 NPO 法人全国移動サービスネットワーク 河崎民子 氏	57名

支えあい活動講座の開催

No.	月	日	内 容	参加者数
1	2	1	・生活お助け隊の現状について ・おいじたくについて ・認知症の理解について ・修了式、お助け隊登録	18名

・生活お助け隊派遣事業

高齢者が日常生活を継続するために見守り等が必要な高齢者等に対し、生活お助け隊を派遣した

利用登録者	41名	生活お助け隊登録者	76名
-------	-----	-----------	-----

・利用実績

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
取付修理	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ゴミ出し	2	8	6	3	5	3	1	3	11	9	9	9	69
買 物	5	6	6	6	7	6	4	8	6	5	4	6	69
冬期除雪	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	1	0	11
そ の 他	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合 計	10	15	12	9	12	9	5	11	25	17	14	15	154
実利用者数	5	5	4	4	4	4	3	5	11	8	7	5	65

・生活支援体制整備事業 PR 動画作成及び上映した

・各種会議等でおいじたくについて周知啓発を行った

・各種研修、会議等に参加

④ふれあい支援（保険外サービス）事業

・介護保険サービスや障害福祉サービス等で提供できないサービスを保険外で実施した主なサービス内容は、病院内での院内介助であった

料金は30分で500円、以下30分毎に500円を加算

・年間利用実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	10	14	11	14	14	10	15	22	15	12	10	10	157
内 訳	介護	7	9	6	7	8	7	6	14	7	7	7	92
	障害	2	0	1	1	2	1	1	2	0	2	0	13
	外出	1	5	4	6	4	2	8	7	6	5	3	52
利用者数	8	9	10	10	11	9	11	13	9	10	10	10	120

⑤脳の健康教室の実施

・町からの受託による実施

・脳の健康教室サポーター12名を委嘱

（サポータースタート研修 5/16、楽習者説明会 5/30）

・町内3地区での実施（6月から11月の6ヶ月間実施）

No.	会 場	実施曜日
1	深浦（フィットネスプラザゆとり）	毎週火曜日
2	岩崎（ふれあいと創造の館）	毎週水曜日
3	大戸瀬（大戸瀬支所）	毎週金曜日

・三教室合同交流会（9/25）

・楽習者34名内、修了者30名（修了式 11/21）

⑥認知症カフェ（ゆとりカフェ）の実施

- ・町からの受託による実施
- ・ゆとり食堂での実施

No.	実施日	参加者	内 容
1	4月26日	5名	・ミニ講話「フレイル予防について学ぼう」・アクティビティ「プリントで認知症予防」
2	5月31日	14名	・アクティビティ「うたごえ、紙工作」
3	6月28日	10名	・ミニ講話「車いすについて学ぼう」・アクティビティ「うたごえ、指体操」
4	7月26日	7名	・ミニ講話「夏場の食中毒予防を徹底しましょう」・アクティビティ「問題プリント」
5	8月30日	4名	・ミニ講話「自分で認知症の兆候にどう気づくか」・アクティビティ「問題プリント」
6	9月27日	4名	・ミニ講話「口腔ケアについて」・アクティビティ「スクラッチアート」
7	10月25日	14名	・アクティビティ「うたごえ、歌に合わせて踊り」
8	11月29日	10名	・ミニ講話「心身ともに健康であるために」・アクティビティ「キャップを使ってクリスマスツリー」
9	12月20日	13名	・ミニ講話「ヒートショックについて」・アクティビティ「紙工作 獅子舞」
10	1月31日	16名	・アクティビティ「うたごえ、チーム対抗戦」
11	2月28日	17名	・ミニ講話「認知症の心を感じてDVD（延期）」・アクティビティ「うたごえ、紙工作 雛人形」
12	3月27日	18名	・ミニ講話「認知症と生活習慣病」・アクティビティ「うたごえ、問題プリント」

2-2 福祉教育・ボランティア推進校の推進

(1) 福祉意識の高揚と人づくり

①第19回深浦町社会福祉大会の開催（共同募金受配事業）

- ・期 日 令和5年10月26日（木）午後1時30分～
- ・会 場 深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」多目的ホール
- ・参加者 約70名
- ・内 容 式典 表彰状 1個人、1団体
感謝状 1事業所
児童生徒による福祉作文の発表
講演 ～懐かしの学校「駅ナカ学校」～「駅さいぐべし！」
「駅さいぐべし！」実行委員 夏原 謙二 氏

(2) 福祉教育の推進

①ボランティア活動推進校の指定（共同募金受配事業）

- ・各校の活動状況一覧
<令和5年度において実施した行事>

実 施 行 事 名	実施校	内 容 等
体育祭・運動会・文化祭・学習発表会	2	地域住民を来賓として招待
各種募金活動	5	緑の羽根募金・赤い羽根募金
環境美化活動	5	沿道、公園、海岸のゴミ拾い、学区内 JR 駅の清掃
鮭稚魚放流体験	1	追良瀬川での放流

人権啓発のための花植え付け	3	人権文字入りのプランターへ花苗植え付け
福祉作文の出版	5	福祉作文の出版、大会でのビデオ発表
あいさつ運動	2	校内でのあいさつ運動
稲作・餅つき体験・おにぎり大会	1	稲作体験をすると共に、収穫した米で餅つき等を行う
環境保護リサイクル	2	空き缶等の回収
地域ボランティアによる読み聞かせ活動	1	本の読み聞かせ活動
職場体験	1	町内各事業所において職場体験
外部講師による講話	2	昔の話、命の誕生、生命尊重・福祉について
地区児童委員との情報交換会	1	地区の児童委員と地域の状況について情報交換
広報啓発	1	熱中症・各感染症等の予防呼びかけ
体育祭・運動会・文化祭・学習発表会	2	地域住民を来賓として招待
各種募金活動	5	緑の羽根募金・赤い羽根募金
体育祭・運動会・文化祭・学習発表会	2	地域住民を来賓として招待

<今後検討している行事>

- ・体育大会招待
- ・大中祭招待
- ・民生委員さんの給食試食会
- ・学習発表会招待
- ・海岸沿道清掃

<感想・意見等>

<p>・今年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したものの、インフルエンザの拡大もあり、はまなす荘の訪問や高齢者疑似体験などができなかった。 来年度も新型コロナウイルス等の感染症の状況を考慮し、行事の企画及び運営方法を工夫して実施し、社会福祉に対する意識を高めたいと考える。 また、PTAによる読み聞かせ(お話会)により読書を活発にするための働きかけを積極的に行い、知的な面ばかりでなく社会福祉の基盤となる豊かな心を育むことができた。 今年度もボランティア予算を配分していただいたことにより、積極的に体験の場を設定することができたので、深浦町社会福祉協議会に感謝申し上げたい。</p> <p>・今年度は、コロナ禍の影響で実施できなかった稚魚の放流や学校行事への招待などを実施することができた。特に稚魚の放流では、地域の産業である漁業に関心を持つきっかけとなり、総合的な学習へつなげることができた。福祉体験は実施できなかったが運動会や学習発表会への招待などで地域の方々との交流をもつことができたため、学校の教育活動を伝えることができた。今後も福祉について考え体験する機会を設定し、子ども達の意識の高揚を図っていきたい。</p> <p>・現在の社会情勢を鑑み、活動できなかった行事を検討していきたい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、計画どおりに行事を行うことができました。引き続き感染症対策を行ったうえで、生徒にとって良い経験となる教育活動を行ってまいります。</p> <p>・文化祭で老人施設へ招待案内を発送しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参観の来校はありませんでした。 保健体育委員会は、「熱中症予防」にかかわるポスターやチラシを作成し、ポスターを本校校内に掲示するとともに、チラシを町内小中学校に配布しました。 また、生徒会誌編集委員会は学校活動紹介の広報誌を学区内の老人施設へ配布しました。 大戸瀬中学校の環境を整備するため、グラウンドの草取りなどの作業を保護者にも協力してもらいながら行いました。</p>

②福祉出前講座の実施

No.	開催日	会場	参加者	内容
1	2月1日	深浦中学校	1年生 25名	福祉講演会

③福祉の作文集の発行（共同募金受配事業）

- ・小中学校生徒による福祉作文集の発行 350部

(3) ボランティア活動の推進

① ボランティアセンター事業の実施（共同募金配分事業）

1) ボランティアの登録状況（令和6年3月現在）

- ・登録の状況

団体	31名
個人	8名
合計	39名
- ・保険加入状況 213名

2) その他の事業等

- ・切手等収集ボックスの設置（1カ所）
- ・ボランティア活動の依頼 赤い羽根共同募金

② 災害ボランティアネットワークの構築

- ・避難訓練参加、実施
- ・青森県社会福祉協議会災害時相互応援協定締結
- ・つがる西北五社協災害協定調印式（五所川原市）
- ・青森県災害協定ネットワーク会議（オンライン）

2-3 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実

(1) 福祉情報の提供

① 社協だよりの発行

- ・各地区の行政連絡員を通して毎戸配布及び町内各公共関係機関 50 件へ配布

No.	発行日	発行部数	内 容
第104号	5月26日	3,500部	・事業計画及び予算・社協会費納入のお願い・安心電話紹介 等
第105号	8月10日	3,500部	・共同募金運動報告・事業報告及び決算報告 等
第106号	9月29日	3,500部	・いきいき交流会・各団体活動・共同募金運動お願い 等
第107号	11月24日	3,500部	・社会福祉大会・団体研修会・ゆとりカフェ 等
第108号	1月26日	3,500部	・新年あいさつ・生活福祉資金・新年ふれあい交流会 等
第109号	3月29日	3,500部	・町老連芸能大会・福祉出前講座・権利擁護・能登半島地震寄付報告 等

② 社協ホームページの管理

- ・インターネットを通じた情報の提供

(2) 相談体制の確立

① 心配ごと相談事業の実施

- ・事務局・介護職員の相談業務
- ・相談の実績

相談事項		生計	年金	職業・生業	住宅	家族	健康・衛生	医療	人権法律	財産	障害者福祉	高齢者福祉	その他	合計
取扱件数		21	1	2	1	1	1	2	1	1	2	5	8	46
処理状況	解決	16	0	1	0	0	0	2	0	0	2	2	7	30
	他機関	5	1	1	1	1	1	0	1	1	0	2	1	15
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

②福祉サービス苦情解決第三者委員会の設置

- ・第三者委員3名を委嘱し、相談、苦情解決体制を構築

(3) 生活支援体制の確立

①たすけあい資金貸付事業の実施

- ・一時的な生活資金の確保のため、20万円を限度とする無利子の一時資金
- ・3万円を限度とする無利子の緊急小口資金
- ・制度のPRと償還指導の実施
- ・令和5年度貸付申込、決定件数及び金額

申込件数	金額	決定件数	金額
3	280,000	3	280,000

- ・令和5年度末貸付者件数及び金額

貸付者件数	金額
4	335,000

②生活福祉資金貸付事業の実施

- ・制度をPRし有効活用を図る
- ・利用相談及び貸付、償還指導の実施
- ・償還猶予申請（特例緊急小口資金1件）
- ・令和5年度実績

No.	資金種類	償還計画			償還実績			償還率 %
		貸付元金	貸付利子	延滞利子	貸付元金	貸付利子	延滞利子	
1	総合支援資金	103,290	0	0	98,290	0	0	95.16
2	更生資金	1,150,303	119,160	7,267,400	109,880	18,120	100,000	9.55
3	更生資金（障害）	0	0	4,659,547	0	0	135,000	-
4	生活資金	0	0	112,011	0	0	0	-
5	福祉資金	1,308,260	67,190	694,267	93,660	1,860	0	7.16
6	教育支援資金	4,544,330	0	7,557,966	453,850	0	174,840	9.99
7	療養・介護等資金	66,685	5,280	478,283	0	0	0	0.00
8	緊急小口現金	249,900	0	0	99,960	0	0	40.00
	合計	7,422,768	191,630	20,769,474	855,640	19,980	409,840	11.53

③総合的権利擁護事業の推進

ア. 日常生活自立支援事業の実施

- ・青森県社会福祉協議会から受託
- ・利用者件数（令和6年3月31日現在）

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
6	4	1	11

- ・相談件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
問合せ件数（制度・事業）	4	0	0	4
初回相談件数（契約手続き）	0	0	0	0
相談援助件数	13	18	5	36
計	17	18	5	40

- ・契約の状況 新規契約1件、解約 1件

- ・各種会議出席 基幹的社協等連絡会議 3 回（青森・オンライン）
 専門員・生活支援員研修会 1 回（青森）
 関係機関連絡会議 1 回（オンライン）
 預かり書類等現物検査及び現地調査（指摘事項なし）

イ. 法人後見事業の実施

- ・受任件数(令和 6 年 3 月 31 日現在)

類型	受任状況		被後見人等の区分 認知症	被後見人の状況		申立の状況	
	受任中	終了		身寄りが ない	親族有り 支援困難	親 族	町 長
後 見	9	12	21(4)	0	21(4)	7	14(4)
保 佐	6	0	5	0	6	1	5
補 助	2	1	3	0	3	0	3
計	17	13	30(4)	0	30(4)	8	22(4)

() 内は生活保護受給者

- ・令和 5 年度法人後見受任者及び終了者の状況
 - 1) 新規受任・・・6 件（類型：後見 3、保佐 2、補助 1）
 - 2) 終了者・・・3 件
 - 3) 受任予定・・・1 件（類型見込：後見 1）
- ・受任者への支援
 - 1) 金銭管理、財産管理及び身上監護の実施
 - ①毎月の収入確認、利用料、医療費等の支払い
 - ②介護サービス、入院等の契約事務
 - ③毎月本人との面会による状態確認、必要に応じて親族への報告
- ・権利擁護事業に関する研修会への参加
 - 1) 権利擁護センターあじがさわ運営協議会（鯨ヶ沢町）2 回
 - 2) 権利擁護センターあじがさわ判断・検討会議（鯨ヶ沢町・深浦町）13 回
 - 3) つがる西北五圏域権利擁護研修会（五所川原市）
 - 4) 高齢者権利擁護意思決定支援研修会（オンライン）
 - 5) 西北五圏域権利擁護センター研修会（五所川原市）
- ・裁判所との協議報告書等
 - 1) 後見等事務報告 12 件
 - 2) 受任時財産、収支予定表提出 6 件
 - 3) 後見事務終了報告 3 件
- ・その他
 - 1) 成年後見制度に関する相談 3 件（申立へ結び付け）
 - 2) 後見制度利用相談 7 件（包括 6 件、事業所 1 件）
 - 3) 終了後の相続手続きに関する相談
 - 4) 親族直接申立支援 1 件（親族受任）
 - 5) 相続に関する特別代理人に関する相談 1 件

④生活困窮者自立支援事業への協力

ア. 福祉事務所未設置町村相談事業の実施

- ・福祉事務所未設置町村相談窓口業務の町から受託
- ・専門員 1 名配置
- ・県社協・西北地域自立相談窓口への橋渡し
- ・生活困窮者自立相談支援事業推進会議（5 月）
- ・支援調整会議（3 月）
- ・新規相談 11 件、支援件数 55 件支援
- ・フードバンクの利用 9 件

⑤日常生活費の預かり事業の実施

- ・食糧品、日用材質等の買物代を預かり管理
- ・契約件数 2 件（令和 6 年 3 月 31 日現在）

3-1 町社協基盤の充実強化

(1) 社協組織の強化

①理事会・評議員会の充実

ア. 理事会の開催

No.	開催日	会場	出席者	議案
1	5月29日	多目的ホール	理事 8名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度監査報告 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度深浦町社会福祉協議会会計収支決算について ・定款記載の収益事業の廃止について ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について ・定款の一部変更について ・任期満了による理事・監事候補者の推薦について ・深浦町社会福祉協議会表彰規程の一部改正について ・会長の職務の執行状況について ・評議員会に諮る議案について
2	6月19日	多目的ホール	理事 10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選任について ・各種委員会委員の選任について
3	9月22日	多目的ホール	理事 10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について ・深浦町社会福祉協議会成年後見事業実施要綱の一部改正について ・第19回深浦町社会福祉大会の開催について ・令和5年度普通会費の納入実績と分会推進費の交付について ・令和5年度共同募金運動について ・評議員会に諮る議案について ・会長の職務の執行状況について
4	12月25日	多目的ホール	理事 10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度上半期中間監査の結果について ・令和5年度社会福祉協議会会計資金収支補正予算案について ・令和6年度町補助金等の要望について ・自然災害及び感染症にかかる事業継続計画（BCP）の策定について ・介護保険事業・障害福祉サービス事業運営規程の一部改正について ・評議員会に諮る案件について ・会長の職務の執行状況について
5	3月20日	多目的ホール	理事 10名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算案について ・令和6年度深浦町社会福祉協議会事業計画案について ・令和6年度深浦町社会福祉協議会会計収支予算案について ・深浦町社会福祉協議会自己評価結果について ・役員等損害賠償保険の加入について ・評議員会へ提出する議案について ・会長の職務の執行状況について

イ. 評議員会の開催

No.	開催日	会場	出席者	議案
1	6月19日	多目的ホール	評議員 18名 理事 1名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度監査報告 ・令和4年度深浦町社会福祉協議会事業報告について ・令和4年度深浦町社会福祉協議会会計収支決算について ・定款記載の収益事業の廃止について ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算案について ・定款の一部変更について ・任期満了による理事・監事の選任について
2	10月5日	書面決議	評議員 24名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について
3	1月18日	表面決議	評議員 24名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について
4	3月28日	多目的ホール	評議員 19名 理事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度深浦町社会福祉協議会会計収支補正予算について ・令和6年度深浦町社会福祉協議会事業計画について ・令和6年度深浦町社会福祉協議会会計収支予算について ・深浦町社会福祉協議会事業自己評価結果について ・役員等損害賠償保険の加入について

ウ. 監査会の開催

No.	開催日	会場	出席者	議案
1	5月16日	健康相談室	監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度深浦町社協事業の実施状況及び資金の収支の状況並びに財産の状況について
2	11月20日	健康相談室	監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度上半期深浦町社協事業の実施及び資金の収支の状況並びに財産の状況について

②地区分会の組織と活動強化

ア. 分会長会議の開催

No.	開催日	会場	出席者	議案
1	5月23日	多目的ホール	分会長 28名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度社協事業等について ・令和5年度社協普通会費の納入について ・令和4年度共同募金実績報告及び令和5年度共同募金運動実施計画について
2	9月26日	多目的ホール	分会長 23名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度普通会費実績額について ・令和5年度分会推進費交付について ・令和5年度共同募金運動について

イ. 組織と活動強化

- ・分会推進費を交付し小地域での活動を支援

③フィットネスプラザゆとりの管理

- ・社協活動拠点としての町指定管理を継続
- ・多目的ホール等施設の貸出し及び施設利用料の徴収
- ・施設及び設備、器具の維持管理
- ・年間利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
多目的 ホール	回数	1	8	11	8	8	7	7	6	7	2	1	4	70
	人数	20	564	615	255	310	133	160	280	200	40	15	198	2,790
健康 相談室	回数	3	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	8
	人数	30	10	20	0	0	0	12	15	0	0	0	0	87
研修室	回数	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	人数	0	10	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	18
計	回数	4	10	12	8	8	7	9	9	7	2	1	4	81
	人数	50	584	635	255	310	133	175	300	200	40	15	198	2,895

④第3次地域福祉活動計画周知及び進捗管理

- ・第3次計画の内容を広く関係者及び住民に周知
- ・計画の進捗管理と点検評価

⑤業務継続計画（BCP）の策定

- ・介護、障害福祉サービスにおける感染症及び自然災害時におけるBCPを策定

（2）職員体制の強化

①職員の処遇安定

- ・定期昇給、昇格及び処遇改善手当の支給の実施
- ・人事異動、事務分担の変更
- ・福利厚生センターへの加入
- ・定期健康診断受診
- ・就業規則等の一部改正

②福祉専門職としての資質向上

ア．職員の資質向上

- ・専門職としての資格取得の支援
- ・打合せ会や内部研修の実施

（3）関係機関・団体との連携

①社会福祉法人、事業者との連携

- ・社会福祉法人等連絡会の運営（総会・役員会・監査会を開催）
- ・車両への「見守りステッカー」貼付による地域の見守り活動実施
- ・深浦町福祉・介護事業者等の災害等相互支援に関する協定
- ・各事業者との連携・連絡調整
- ・複数法人連携による地域貢献協働事業・深浦ネットワーク会議の開催（1回、県経営協）

②各種関係機関・職能団体への参加

- ・青森県市町村社協連絡会への参加
- ・つがる西北五社協事務局長連絡会への参加
- ・つがる西北五社協職員連絡会との連携した事業の実施

- ・青森県社会福祉会、西北五支部研修会へ参加
- ・青森県介護支援専門員協会西北五支部研修会への参加
- ・青森県ホームヘルパー連絡協議会西北五支部研修会への参加

(4) 財政基盤の整備

① 会員会費制度の理解と加入促進

- ・普通会費 2,642 世帯加入
- ・賛助会費 59 事業所加入
- ・特別会費 14 団体加入

② 公費助成の確保

- ・町と連携した事業の取り組みによる補助事業、受託事業の実施

③ 自主財源の確保

- ・自動販売機の設置による販売手数料を収受
- ・法人後見報酬の一部を法人運営事業及び地域福祉活動へ活用

④ 共同募金事業への協力

- ・社協だよりへ募金活動協力依頼掲載
- ・一般募金、街頭募金の協力
- ・能登半島地震義援金の募集 (176,967 円)
- ・NHK 歳末たすけあい事業の実施 (新年ふれあい交流会)

⑤ 基金・積立金の運用

- ・利息を社会福祉事業へ活用

⑥ 各種助成制度等の活用

- ・自主財源の負担軽減のため、助成制度の活用

※令和 5 年度共同募金実績

目 標 額		1,690,000
実 績 額		1,599,981
内 訳	戸別募金	1,297,400
	街頭募金	29,868
	学校募金	74,845
	その他	197,868
達 成 率		94.7%